

第7回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（東部下）

日 時	平成26年2月4日（火）午後7時～午後9時
場 所	文化センター
参加人数	住民参加者：29人 議員12人 事務局1人
地元協力団体	上条区、湯田中区
議員役割分担表	<p>総括責任者 西 宗亮</p> <p>司会進行 田中 篤</p> <p>常任委員会報告者</p> <p>総務常任委員会 望月 貞明</p> <p>社会文教常任委員会 高田 佳久</p> <p>観光経済常任委員会 小根澤 弘</p> <p>広報常任委員会 黒岩 浩一</p> <p>議会活性化研究会 西 宗亮</p> <p>記 録 者 山本 良一</p> <p>出席議員 小根澤 弘・望月 貞明・西 宗亮・田中 篤・布施谷裕泉・高田 佳久・山本 良一・黒岩 浩一・徳竹 栄子・小渕 茂昭・小林 克彦 児玉 信治</p>
次第（担当者）	<p>1. 開 会 司会者 田中 篤</p> <p>2. あいさつ</p> <p>(1)主催者 児玉 議長</p> <p>(2)共催者代表 塚田 上条副区長</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1)議会常任委員会等報告</p> <p>①総務常任委員会 望月 貞明</p> <p>②社会文教常任委員会 高田 佳久</p> <p>③観光経済常任委員会 小根澤 弘</p> <p>④広報常任委員会 黒岩 浩一</p> <p>⑤議会活性化研究会 西 宗亮</p> <p>(2)質 疑</p> <p>4. 懇談事項</p> <p>テーマ「公共施設の整備」</p> <p>5. 閉 会 司会者 田中 篤</p>
報告事項の質疑	司会；報告事項、その他に関する質問、どちらでもよろしいので質問のある方？
懇談会意見	<p>質問：議会一般質問で特に熱心に質問された議員に、項目ごとに考えを聞きたい。</p> <p>(1) 4小学校統合について、布施谷議員、黒岩議員に伺いたい。</p> <p>(2) 新幹線に関しては、小根沢議員、山本（良）議員に。</p> <p>(3) 文化施設（ロマン美術館） 平和観音問題を高田議員に。</p> <p>(4) 通学路問題については西議員に。</p> <p>(5) 防災の問題は、望月議員に。</p> <p>司会：議会報告会は本来議会の統一見解を示す場であるが、せっかくの質問なので、それぞれの議員個人の考えに基づく考えとなると思うが、回答させる。</p>

回答：

(1)

- 統合問題についてはそれぞれの議員の考えが異なっている。

基本的には、昨年3月議会において教育委員会より提案のあった統合検討委員会設置条例案は、議会において否決された状況である。

私の考えでは、教育委員会は、条例提案以前に、もう少しいねいな議論を町民に求めるべきであったと思う。また、統合にあたっては人数が焦点になっていたが、問題とすべきは、山ノ内として、どういう教育を子どもたちに受けさせていくのかははっきりと見えてこなかったとの思いが私にはある。

他市町村が統合も含め進めている教育問題について、山ノ内町は、教育委員会が、めざす教育の方向を、町民にはっきり示したうえで、提案すべきであったと考えている。

なお、その後（否決後）町民アンケートも行われ、町民の意識も教育委員会は把握されていると思うので、今後それを踏まえた提案がなされると思う。

- 「南小学校がなくなるから反対で、それは地域エゴではないか」との声も聞こえるが、全く違う。

人数が少なくなるから統合といった、単なる人数合わせの統合ありき論ではおかしいと考えている。小規模になっていく小学校教育の在り方をどうしていくのかという、本質論を飛び越し、拙速に結論を出すということに疑問を感じている。

(2)

- 新幹線の延伸に伴い、一人でも多くのお客さまを山ノ内に誘客することが重要であり、そのためには2次交通の問題解決が重要との視点で質問している。

また、飯山新駅にできるであろう案内所で、山ノ内町の案内ができることが重要だと考えている。

- 石川県庁での視察を経験したうえでいえば、今までの長野新幹線ではなくなり、首都圏と石川県を直接結ぶ北陸新幹線が開通するのだという認識が、首都圏においても石川県においてもあり、多分正解ではないかと思う。

5年間で10億円という広告宣伝費を確保し、首都圏からの来客数を倍増するという石川県の戦略は緻密で強力、長野駅も中間駅化しかねないとの思いを感じてきた。

電車を利用され山ノ内に訪れるお客様は、現状でも15%程度で、二次交通も具体化されていない状況では、首都圏からの来客数は減少する恐れもあるうえに、広域9市町村での宣伝もそれぞれ思惑もあり、現段階では飯山駅中心の商品企画はできていない。

幸い、開通の年は善光寺の御開帳にあたり、長野市に目が向くことから、従来の長野市から小布施をとおり山ノ内へのコースはあるので、それも活かしたうえで、北陸方面から見て個性的な観光地をめざしていくことが重要。足元を見つめ直し、山岳県長野、エコパークを真剣に考えるべきと感じている。

(3)

- 町内文化施設、志賀山文庫、林芙美子文学館、湯薫亭とここ数年間で休館されていることは、3館が個人、法人により運営されていたことでもあり、町として深くかかわることではないが、個人的には残念である。

ただ、林芙美子作品、書簡等500点は町所有であり、町所有の児玉果亭作品ともども、今後、たとえばロマン美術館の企画展などで展示していく方法も考えられる。

平和観音は、建立当時も現在においても、東洋一の、また3大観音として貴重なものである。

今回一般質問では、身近にある貴重な作品を町の宝とすべきとの趣旨で行ったが、その中でアクセスの問題、駐車場の問題などを提案した。

(4)

- 山ノ内町の道路は一般に狭い。また広めの道路は、交通量が多いということから通学児童生徒の安全性に不安がある。

一昨年中学生の事故もあり、登下校時の安全性確保のための方策を考えていかねばならないという思いが強くなる。

この問題は、東部だけでなく全町の問題。また、冬期間の歩道除雪も重機の入りづらい場所もあり危惧している。

町だけでなく、地元の協力も得ながら通学路の安全確保をはかるべき。

また、特に冬期間下校時は暗くなることから、事故があつてからでは遅い。道路照明などの検討をすべきと考えている。

(5)

- 消防団の確保が難しくなっている状況だ。そんな中で実施された団員アンケートによれば、ポンプ操法大会のための訓練が大きな負担になっているという声が多くみられたことから、昨年より大会が簡略化された。

また、団員確保が難しくなってきたことから、(寒沢区では)区と一体となって団員の確保を行っている。

また、私どもの地区には若者が少ないので、高齢者により定数を確保している。

ホテル火災に対する対応と高齢者の住む住宅の防災対策についても質問した。

質問：最近町を歩いていて、お客様に見どころを聞かれて困る時がある。

観音様はあるが見えないし、・・・小布施はなぜ、あんなにお客様が行くのかと考えると、小布施は町全体が観光エリアだ、山ノ内町も見習うべきと思うが。

また、先ほどの文化施設の件も、お客様が減ったから運営が厳しい、だからやめればという典型的な山ノ内型の悪い考え方があるような気がする。

もう少し町が主導権を取って本気でやらなきゃダメだと思う。「町長さんが悪い」とまではあえて言わないが、ほかのうまくいっている村や町があるので、参考にして是非いい方向に行ってほしい。

回答：

- 町をぶらりと歩くということから観光、また産業振興という面でお答えする。

私の近隣にある湯薫亭が閉館したが、文化施設の運営は非常に難しい。たとえば軽

井沢にある多くの美術館は冬期間休館している。客層が変わることで文化施設の入り込みは大きく変わる。上林でオリンピックが開催された時、非常に多くの外国からのお客様が訪れたが、野猿公苑には行っても、美術館はさっぱり入らなかった。

美術品はいわば嗜好品なので、嗜好が異なるお客様にとっては意味がない。また、一茶とか文学作品の場合、作品解説が必要。作品を見ても（一般的には）理解するのは困難で、解説できるボランティアの育成も難しいことから、やむなく閉館となったことや、館長さんの健康上の理由による閉館だ。

そうはいつでも町にとっては貴重な財産なので、議会としても考えていくべきと思うが、何もないではなく、あるものをいかに利用するか考えることが大切だと考えている。

- 私も小布施は素晴らしいと感じていたことがあるが、(当町とは) 立地を含め大きな違いがある。小さくまとまった町と、中山間地を含め広く散らばった町とでは町づくり手法も変わる。

議会においても、町づくりに関しては議員個々で様々な考え方があり、これが正解というものはないと思うが、本日参加されている方のご協力も得ながら、議会としても知恵を出して汗をかいてすすめるべきものと思う。

提言：私は統合問題の落としどころは、(北信ローカルの記事で見た) 町民アンケートにより見えたと思っている。複数学級が必要とする答えは59%。5年後6年後の統合を望む声については、「早くしろ」であるか「あわてるな」というどちらの考えかは、私にはわからない。いずれにしろ、議会は統合の件で二度失敗している。

一度目は、教育委員会が地区懇談会を開催しなければならなくなったということの前提で、議員が悪かった。もう一度は、せっかく教育委員会が提案したものを議会が否決してしまったという点で、小田原評定のような。26年度に方向を出すようお願いする。

もう一点、私は新幹線には全く期待していない。長野駅の3分の1しか停車が見込めないそうで、そこに期待するより、重要な鉄道である長野電鉄を大切にすべきと考えている。

質問：統合については、いつまでもやっていないで、期日を決めて速やかに結論を出すべき。今期の議会16人全員で決めてほしい。アンケートを見れば5年後6年後などとなっているが、東部統合保育園の時のように、また6年後になってから問題になってしまう恐れがある。

議員の皆さんはあと任期一年と少し。今任期中にしっかり結論を出すべきだ。

回答：学校統合問題については、誤解しないでいただきたいのは、議会として統合に反対で引き延ばしているものではない。そのうえで、統合についてお答えするが、どこの自治体においても、実は時間をかけて進めている。

たとえば過疎の地域の学校が統合によりなくなることは、地域の将来にとってきわめて重大な問題であり時間はかかる。信濃町では7年かかっている。

参考だが、お隣の木島平村において、木島平型の教育というものができたのは統合した後で、こういう教育をするという理念は事前になかった。また、木島平村の統合

は極めて近い地域での統合で、山ノ内ほど遠く離れた環境での統合は、地域にとっても子どもたちにとっても非常に大変なことであり、十分議論をつくす必要がある。

また、教育懇談会は、例年、保護者、学校関係者出席のもとで開催されている。今回はその会の席上で、統合について教育委員会の考え方を説明してほしいということで、わざわざ時間を取ったものであり、あまりにも説明不足で、質問に対して具体的な場所、教育方針、予算などの回答が一切なく、とりあえず統合だけは理解願うという状態だったので、結果として条例は否決となったものである。

質問：私が提言したのは早い段階で方向を出せというもので、早く統合しろという意味ではない。議員の皆さんも次回から定数も変わるようなので、今期のうちに方向を出す責任があると思う。

参考までに、かえで保育園の例をあげると、保育園検討審議会で場所は東小付近という答申が出されたが、その後、建設検討委員会が組織されたら、あそこはよくない、あちはどうだ、というように振り出しに戻ってしまった。その経験を踏まえ、しっかりとした方向を皆さんの代で決定して次期に送るべきという意見である。

回答：参考であるが、本日開催された教育委員会定例会を傍聴した中では、アンケート結果を踏まえたうえで段階的統合という考え方を示すという趣旨の発言があった。議会としては、教育委員会の提案が出た段階で鋭意審議するので、質問の趣旨には答えられると思う。

質問：社会体育館使用中止になって10年、使用していない建物はどんどん傷む。今回の資料を見れば平成28年度から検討されるようだが、最新の建築工法などで補修再生ができないのか。

回答：指摘のように、町は平成28年度から32年度の基本計画で検討していく方向を示しているが、議会としては予算決算審査の中で、計画は速やかに作成し、審議会あるいは建設検討委員会などは、26年、27年にも立ち上げ、28年には動けるようにすべきと指摘している。

また、旧体育館については、耐震面から取り壊しの方向で考えているが、従前は、取り壊しのための補助は認められていなかったが、国の方針見直しで耐震性、老朽化のすすむ全国1万2千の使えなくなった建物取り壊しについて、補助予算を計上するとの情報もあり研究していく。

建築関係の仕事をしていた経験から言えば、あれだけの空間を持つ建物が、どこの部分で強度を持たせているかもわからないことから、危険防止という観点から取り壊さざるを得ない。

質問：その件（取り壊し）について過日総務課に問い合わせたところ、課長からは、町としての跡地利用の計画もなく、壊すか壊さないかも決まっていない段階で、現在取り壊しを考えていないとの回答を得た。さらに12月議会において、公共施設検討会議開催意思の質問に対して、副町長が「開催する意味がない」との趣旨の回答をされたように、行政と議会がかみあわない。

言いつばなしでなく、行政を動かす議会であってほしいので、今後の議会では、（問題点を）会派で決めて集中的に質問してもらいたい。

以上、議員さん頑張れガンバレのエールだ。

回答：議員もそれぞれこんな町にしたいという思いがあり、実施計画に入り達成された事業もたくさんある。しかし、山ノ内町の徴税収入が32億から18億に減少している中では、公共施設整備も大切なものから、優先順位をつけて行う。例えば防災面に配慮し消防署の建設を急ぐ、その次は子供たちの保育園を直しましょうという順番で行っている。ご指摘の社会体育館については、かえで保育園建設の際、体育館を取り壊し保育園建設という案も検討されたが、経費の点で見送られたなどの経緯がある。議員個々に様々な思いがあるが、議会としては、違う優先すべき公共施設を提案したうえで、町が行なったということは理解いただきたい。

また、先ほどの社文の委員長の説明に補足するが、今回5会場で、ロマン美術館入館の有無を調べさせていただいたが、それによれば、町がいろいろな企画をしても、町民の皆様が見ようとしめない。そんなところから考えるが、山ノ内にはなかなか文化施設が育たないようだ。

また、当初は教育委員会がいろいろ計画を立てるが、その後、誰も手伝ってくれない。結果入館者が少ない。町の責任は？という構図になっているのが実情で、私はまず（美術館）愛護会などをつくり、管理していくという、わたくしたち自身の姿勢も重要ではないかと思う。

先ほど指摘された小布施の場合、観光イベント（マラソン）などは基本的には民間の力で運営されているわけで、それぞれの事情の中で行っているのが実情。

質問：旧平穏木材の跡地にドラッグストアが計画されているが、私は商工会役員の立場として反対の意向だ。ただ反対だけでなく、あそこを町が主導権を取って観光のため、町民のため、また各種催事のためのもので使えるよう、議会議員の皆さんに提案していただきたい。

アメドラの出店に反対しても阻止はできないのは承知だが、もしあの千坪の土地を町のために使おうという動きが議会の中でも起こればいいなあの思いで、お願いに来た。

もう一点、町の職員がボランティア活動をされていないようだが、町民に率先し行うべきと思うが。

回答：

- 指摘の土地の件に関しては、議会でも何人かの議員が質問しているが、その時の答弁によれば、「町は手を出す予定はない」というものである。ただ、今後、地域のほうから要望があがってきたらそれなりに考えるという事であるので、地域の皆さんのほうから良い案をあげていただくのが最良だと思う。

総務委員会の立場としてみれば、現状は、安心・安全な状態ではなくむしろ危険だと感じている。

- 観光のためのスペースと言われた場合、町には他にも、すでにかかなりの場所があるので、予算の面からも不可能と思う。

また、指摘の土地は共益会、上条会両財団の所有地であり、両財団とも一般財団法人に移行していることから、今までとは状況も変わり、両財団があそこを放置しておくことは母体員に対しての責任問題にもなり、現状のまま放置することは不可能だ

と思う。

また、星川地区では主婦の店の閉店もあり、高齢者の方が駅前のコンビニへの買い物に行く場面もみられ、買い物弱者の視点から見れば「有りか？」とも思っている。

いずれにしろ、地域、財団、母体員にとりより良い具体的な提案がないと、理事長はじめ理事の皆さんも苦慮されることになるので、真剣に考えるべき問題である。

- 職員は、業務終了後、この文化センター、また庁舎のまわり、292号の草の刈り払いなど現在行っているという事実もあり、ただ仕事をしているだけというわけではないことを紹介しておきたい。

質問：一般の町民に見えてこないから質問に至ったもので、月一回とか決めて町民にわかるような形で行ったらどうか。

回答：町には「町をきれいにする条例」がある。誰が彼がではなく、みんなでこの町をきれいにしていくために行動することが重要だ。

質問：要望という事をお願いするが、防災無線のデジタル化について、十分に研究して欲しい。資料を拝見すると、高森町と箕輪町の視察をされたようだが、これより良い場所がある。高齢者が増加していく中で、有線放送をからめて考えた場合、辰野町では有線放送施設が古くなったもので、デジタル化によって防災無線を変えたという例もある。新潟にも、小布施や飯山にも例がある。

せっかく有線放送網があるので、あるものを利用してできる方策を具体的に考えていただきたい。

回答：ご意見を参考にしたい。

質問：会場に配布されている防災マップだが、間違いもあるし使えないようなものだと思うが。

回答：それは参考として配布したもので、町では現在新たな防災マップ、災害の種類別のものを策定中なのでご理解いただきたい。